

横浜市立大学附属病院麻酔科専門医研修プログラム

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心としつつ、そこから発展して集中治療、救急医療、疼痛・緩和医療などの領域もカバーしながら、患者の命を守り、安全で高品質な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する。

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科専門医の使命は大きく2つある。

1つ目は、手術という治療目的の重度外傷に対するさまざまな生体反応をコントロールし、患者さんを守りながら手術を可能にするとともに、その侵襲からの生体の速やかな回復を支援することである。この目的のために、手術中の麻酔はもとより術前、術後にも、最高の技量と知識を使い、細心の注意を払って診療を行う。

2つ目は、周術期の専門知識と技量を応用し、集中治療、救急医療、ペインクリニック、緩和医療などの分野でも、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供することである。

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

【概要】

横浜市立大学麻酔科は、神奈川県麻酔科医の半数近くが所属する麻酔科として、日本専門医機構の専門医制度開始より10年以上前から、教授の後藤が修了したアメリカの麻酔科レジデントプログラムを参考に、専門領域も含め、豊富な症例数を万遍なく経験できるよう、独自の教育プランを動かしてきた。

2020年度の専門研修プログラムを作成するに当たっては、専攻医一人一人の希望も取り入れ、将来のさまざまな方向性に対応できるよう、これまで行ってきた教育プランのさらなるレベルアップを図った。

具体的には、

1. サブスペシャリティー領域を中心に病院群を充実させた。(特に心臓血管、小児、産科、ICU)
2. ワークショップやハンズオン、カンファランスなど、教育的な活動を増加させ、高い水準の学習の機会が容易に得られるようにした。
3. 専門研修プログラム以降のサブスペシャリティー研修(フェローシップ)を充実させ、専門研修プログラム中に前倒しスタートできるようにした。
4. 全国初のデータサイエンス学部を有する大学として、臨床統計学や臨床疫学を修めた指導者を麻酔科内に擁し、専攻医研修中から質の高い臨床研究ができる。2020年度新設のヘルスデータサイエンス大学院への進学も歓迎する。
5. 神奈川県立病院機構のプログラムと密接に連携し、神奈川県で研修したいが大学はちょっと……という専攻医にも配慮した。

なお、麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは、別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている。

【特徴】

1. 神奈川県という、比較的狭い地域内で研修が完結できること。(連携病院は一部、県外にもあるが、勤務は必須ではない。) 下図に、本プログラムの病院群を示す。赤丸は横浜市大附属病院および横浜市大附属市民総合医療センター。神奈川県外の連携病院は一部省略。



2. 希望者全員が小児病院と専属チームの管理するICU (クローズドICU)で研修できること
3. サブスペシャリティの研修施設が充実していること。例えば心臓血管外科麻酔は川崎幸病院、大和成和病院という神奈川県下で1, 2を争う症例数を誇る病院や、日本最大の循環器専門施設である、国立循環器病研究センターと連携している。ペインの分野では、全国に20か所しかない集学的慢性痛管理センターが横浜市大附属市民総合医療センターにでき、世界最先端の治療を行っている。
4. 教育活動が手厚いこと。ご遺体を用いた神経ブロックや経食道心エコーの理解のための解剖学講習、麻酔下の豚を用いた神経ブロック、胸腔穿刺、外科的気道確保等の実技Wet Labや人工呼吸管理セミナー、ABCD Sonography (ベッドサイドで心、肺、気道などを素早く診察する超音波検査)などが毎年計画的に行われている。
プログラム全体のカンファレンスとしては、集中治療カンファレンスが概ね2か月に1回、心臓血管外科麻酔カンファレンスが概ね3か月に1回、麻酔全般の講演会が年2回開かれている。
その他、施設ごとに勉強会や文献抄読会を行っている。例えば基幹研修施設である横浜市立大学附属病院では、抄読会は朝週3回、専攻医向けレクチャーはほぼ毎日(昼食をとりながら)行っている。

3. 専門研修プログラムの運営方針

【基本的なローテーションの方針】

- 研修の前半2年間は、厚生労働省麻酔科標榜医の取得を目標とし、横浜市大附属病院および横浜市大附属市民総合医療センターと連携施設で、成人の心臓外科手術、脳神経外科、呼吸器外科、帝王切開を含む一般麻酔の修練を行う。専攻医の間で経験症例数（特に専門分野の麻酔の経験症例数）に大きなばらつきが出ないように、半年から一年で病院をローテーションする。
- 研修の前半2年間で、開胸術、開頭術、帝王切開術について、整備指針が求める最低症例数をクリアする。開心術についても2年目終了時での最低症例数クリアを目標とするが、開心術は難易度の高い症例が多く、2年目での完全習得が難しいため、一部、3年目と4年目に行う。
- 3年目はICU研修/三次救急研修/小児専門施設研修を本人の希望に沿って、3～6ヶ月行う。
- 4年目は、手術麻酔の経験をさらに積むコース、心臓血管外科麻酔、産科麻酔、小児麻酔、区域麻酔、ペインクリニック、ICUなどの麻酔科サブスペシャリティーをさらに専攻するコース（フェローシップ）、臨床麻酔を行いながら、臨床研究に従事するコース等を希望に応じて研修する。これらのコースは、5年目以降も継続したカリキュラムを組んでいる。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。

【労務管理】

- 勤務時間は、タイムカード等で施設毎に管理する。原則として、当直は月4回までで、当直明けはフリーとなっている。一部病院や集中治療部などでは、シフト制を導入している。
- 専攻医との面接およびアンケートによる聞き取りを、それぞれ最低年1回ずつは行い、心身の健康状態について問題がないか確認する。

【研修期間中にフルタイム勤務ができなくなった場合の対応】

- 出産、育児、その他の理由でフルタイム勤務ができなくなった場合、時間短縮勤務や当直免除等の配慮を、必要な期間を行う。ただし、当直免除や時間短縮勤務は、緊急手術や長時間大手術の経験が減ることから、研修効果を下げため、本来望ましくない。ICUも当直ができなければ、研修効果は著しく下がる。したがって専攻医は、各自の責任で、フルタイム勤務ができない時期をできるだけ短くする努力が求められる。

横浜市大麻酔科には、フルタイム勤務ができない人たちのグループがあり、勤務継続およびフルタイム復帰のためのノウハウを蓄積しているので、ぜひ利用していただきたい。

- 3年目までに出産や育児、その他の理由で時間短縮勤務等となり、専門分野の症例数が学会の要求数に足りない専攻医に関しては、4年目にそれらを補うプログラムを組む。4年目までの研修内容が不十分と判断される場合、研修終了を延期する。

【リサーチマインドおよび学術活動】

- 専攻医は、学会への症例報告はもとより、各施設で指導医の行う臨床研究に積極的に参加し、その成果を研究への貢献度に合わせて学会発表や学術雑誌への投稿を行うことを推奨する。横浜市立大学麻酔科は、科研費の過去5年間の新規採択累積件数が平成27～29年度の3年連続で全国トップと（文部科学省公開データ、30年度以降はデータが公開されていません）、麻酔科学の研究が日本一盛んな大学である。
- プログラムに参加する大多数の病院で、日本麻酔科学会学術集会中は手術数が絞られるので、専攻医は優先的に学会に参加できる。その他の学会にも積極的な参加を期待する。実績として、特にヨーロッパ麻酔学会には横浜市立大学から毎年5演題以上が採択され、専攻医も含めて多数参加している。

【医療倫理等の研修計画】

- 専攻医は、配属先の病院で行われる医療倫理、医療安全、感染対策等の講演会やe-learningを受講することを推奨する。また、日本麻酔科学会をはじめとする学術集会で行われるこれらの講演会に積極的に参加することを推奨する。



<研修実施計画例>

	A (標準)	B (心臓麻酔)	C(小児)	D (集中治療)	E (ペイン)
初年度 前期	附属病院	附属病院	附属病院	附属病院	附属病院
初年度 後期	藤沢市民病院	横須賀共済病院	横浜市立市民病院	横浜労災病院	横浜南共済病院
2年度 前期	横浜市大附属市民総合医療センター	横浜市大附属市民総合医療センター	横須賀共済病院	横浜市大附属市民総合医療センター	横浜労災病院
2年度 後期	横浜市大附属市民総合医療センター	横浜市大附属市民総合医療センター	附属病院	横浜市大附属市民総合医療センター	附属病院
3年度 前期	神奈川県立こども医療センター	横浜市大附属市民総合医療センターICU	横浜市大附属市民総合医療センターICU	神奈川県立こども医療センター	横浜市大附属市民総合医療センターICU
3年度 後期	横浜市大附属市民総合医療センターICU	神奈川県立こども医療センター	神奈川県立こども医療センター	横浜市大附属市民総合医療センターICU	神奈川県立こども医療センター
4年度 前期	横浜市立市民病院	国立循環器病研究センター	神奈川県立こども医療センター	附属病院ICU	横浜市大附属市民総合医療センター (ペイン)
4年度 後期	横浜市立市民病院	国立循環器病研究センター	千葉県こども病院	附属病院ICU	横浜市大附属市民総合医療センター (ペイン)

<週間予定表>

横浜市立大学附属病院麻酔 ローテーションの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	遅出	手術室	手術室	手術室	休み	休み
午後	手術室	術前外来	手術室	休み	手術室	休み	休み
当直	残り番		当直				

- ・月～金の毎朝8時～8時30分 カンファレンス
- ・火、水、木の12時～12時30分、指導医によるレクチャー（昼食を摂りながら。）

4. 研修施設の指導体制と前年度麻酔科管理症例数

- 群全体における 前年度合計麻酔科管理症例数：129,817症例

群全体における 年間症例数 (2019/4/1~2020/03/31)	合計症例数
小児（6歳未満）の麻酔	11,666
帝王切開術の麻酔	4,546
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	7,571
胸部外科手術の麻酔	4,760
脳神経外科手術の麻酔	4,885

- 本研修プログラム全体における総専門研修指導医：94.28人



① 専門研修基幹施設

公立大学法人 横浜市立大学附属病院（以下 横浜市立大学附属病院）

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 TEL：045-787-2918

(HP：<http://www.yokohama-cu.ac.jp/fukuhp/>)

研修プログラム統括責任者：後藤 隆久

専門医：東條 健太郎 (臨床麻酔)

専門研修指導医：後藤 隆久 (臨床麻酔)

川名 由貴 (臨床麻酔)

水野 祐介 (臨床麻酔)

菊池 賢 (臨床麻酔)

高木 俊介 (集中治療)

山本 匠 (臨床麻酔)

入江 友哉 (臨床麻酔/心臓麻酔)

片倉 友美 (臨床麻酔/産科麻酔)

岡村 健太 (臨床麻酔/心臓麻酔)

田中 宏幸 (臨床麻酔)

松田 優子 (臨床麻酔)

金丸 栄樹 (臨床麻酔/心臓麻酔)

前島 英恵 (臨床麻酔/ハ°インクリニック)

濱井 康貴 (臨床麻酔/心臓麻酔)

入澤 朋子 (臨床麻酔)

山本 さおり (臨床麻酔/産科麻酔)

藤本 寛子 (臨床麻酔)

安西 晃子 (臨床麻酔)

佐々木 誠 (臨床麻酔/心臓麻酔)

山本 夏啓 (臨床麻酔)

土屋 智徳 (臨床麻酔/ハ°インクリニック)

奥 真哉 (臨床麻酔)

横瀬 真志 (臨床麻酔/集中治療)

林 美蓉 (臨床麻酔)

柏木 静 (臨床麻酔/集中治療)

長嶺 祐介 (臨床麻酔)

小林 綾子 (臨床麻酔)

古賀 資和 (臨床麻酔)

吉田 輔 (臨床麻酔/集中治療)

横山 暢幸 (臨床麻酔/集中治療)

近藤 菜穂子 (臨床麻酔)

菊地 龍明 (医療安全)

水原 敬洋 (臨床統計)



特徴：大学病院本院にふさわしい大手術や、状態の悪い患者が多く、麻酔科医としてチャレンジングな症例を多く経験できる。神経ブロックも積極的に行っている。集中治療部は麻酔科の専属チームが常駐。臨床研究にも力を入れ、ヨーロッパ麻酔学会に毎年複数の演題を出している。手術室から東京湾が見え、近隣には八景島があるなど、最高の環境である。

(2026年4月より研修プログラム統括責任者が長嶺祐介へ変更)

*72 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例：5625 症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	63
帝王切開術の麻酔	92
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	225
胸部外科手術の麻酔	166
脳神経外科手術の麻酔	207

② 専門研修連携施設A

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター

(以下 横浜市立大学附属市民総合医療センター)

〒232-0024 横浜市中区浦舟4-57 TEL：045-253-5355

(URL：<http://www.yokohama-cu.ac.jp/urahp/>)

研修実施責任者 佐藤 仁

専門研修指導医：佐藤 仁	(臨床麻酔)	専門医：柳泉 亮太	(緩和ケア)
川上 裕理	(臨床麻酔)	遠藤 大	(臨床麻酔)
宮下 徹也	(臨床麻酔)	松尾 史郎	(臨床麻酔・心臓麻酔)
大塚 将秀	(集中治療)	桑原 大輔	(臨床麻酔・心臓麻酔)
北原 雅樹	(パティクリニック)	幸野 真樹	(臨床麻酔)
刈谷 隆之	(集中治療)	高田 一哉	(臨床麻酔)
後藤 正美	(集中治療)	相原 環	(臨床麻酔)
西岡 浩子	(臨床麻酔)		
小島 圭子	(パティクリニック)		
内本 一宏	(集中治療)		
宮崎 敦	(臨床麻酔)		
増淵 哲仁	(臨床麻酔)		
美濃口 和洋	(臨床麻酔)		
藤井 ありさ	(臨床麻酔)		
井上 玲美	(集中治療)		

特徴：特徴：3次救命救急センターと神奈川県総合周産期センターの指定を受ける、横浜市中心部の大学附属病院で、救急（多発外傷、小児外傷など）、周産期（緊急帝王切開、産褥出血症例など）、循環器（大動脈解離、冠動脈再建術など）の症例が多い。ハイブリッド手術室をもち、TAVIも行っている。集中治療部は、麻酔科医の専属チームが常駐している。2017年度からは集学的慢性痛センターを開始している。

*593 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例：6255症例

特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	67
帝王切開術の麻酔	379
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	328
胸部外科手術の麻酔	156
脳神経外科手術の麻酔	92



国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

(以下、国立循環器病研究センター)

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6 番 1 号 TEL 06-6170-1070

(URL : <http://www.ncvc.go.jp/>)

研修実施責任者：大西 佳彦

専門研修指導医：大西 佳彦 (心臓麻酔、経食道心エコー)

吉谷 健司 (神経麻酔、脳脊髄機能モニタ)

金澤 裕子 (心臓麻酔、低侵襲モニタ)

南 公人 (集中治療、心エコー)

専門医：下川 亮 (心臓麻酔)

中野 雄介 (心臓麻酔)

宮崎絵里佳 (心臓麻酔)

伊藤 慎也 (心臓麻酔)

堀田 直志 (心臓麻酔)

佐藤 仁信 (集中治療)

加澤 昌広 (集中治療)

特徴：昨年7月に吹田市岸部に移転して、12手術室へととなりました。ロボット手術専用や4室のハイブリッド手術室などがあり、心臓大血管、脳外科手術、産科手術に特化した高度先進機能病院となっています。心臓外科術後集中治療室管理にも3年前より介入しており研修施設となっています。2019年度は全国から15名のレジデントが、2020年度は18名のレジデントが麻酔管理、集中治療管理の研修に来ており充実した日々を過ごしております。経食道エコー、誘発電位モニタなど様々な臨床研究の面倒を見ております。



*168 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 2335症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	305
帝王切開術の麻酔	132
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	1204
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	375

国立研究開発法人国立成育医療研究センター（以下、国立成育医療研究センター）

〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-10-1 TEL:03-3416-0181

(URL: <http://www.ncchd.go.jp/>)

研修実施責任者: 鈴木 康之

専門研修指導医: 鈴木康之 (小児麻酔・集中治療)

大原玲子 (産科麻酔)

糟谷周吾 (小児麻酔・救急)

佐藤正規 (産科麻酔)

蜷川 純 (小児麻酔)

山下陽子 (産科麻酔)

行正 翔 (小児麻酔)

専門医: 橋谷 舞 (小児麻酔)

松永 渉 (産科麻酔)

木島美穂 (小児麻酔)

時任剛志 (小児麻酔)

竹内洋平 (小児麻酔)

伊集院亜梨紗 (産科麻酔)

清水 薫 (麻酔・集中治療)

特徴: 小児医療の日本の中心。肝臓移植など、この病院ならではの先進医療も行う。

*87 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 5178 症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	2484
帝王切開術の麻酔	710
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	155
胸部外科手術の麻酔	17
脳神経外科手術の麻酔	128



独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター（以下、横浜医療センター）

〒245-8575 神奈川県横浜市 戸塚区原宿 3-60-2 TEL:045-851-2621

(URL: <http://www.yokohama-mc.jp/>)

研修実施責任者 山田 宏

専門研修指導医: 鈴木 宏昌 (臨床麻酔)

山田 宏 (臨床麻酔)

菅原 泰常 (臨床麻酔)

大川 卓巳 (臨床麻酔)

宮崎 弘志 (集中治療)

中橋 勇典 (緩和ケア)

専門医: 黒木 洋子 (臨床麻酔)

早川 翔 (集中治療)

桑原 香折 (臨床麻酔)

小林 憲弥 (臨床麻酔)

特徴: 横浜市西部の中核病院 成人症例の麻酔であればほとんどの症例を経験できます。質の高い周術期管理のできる麻酔科医の育成を目指しています。

*1300 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3686症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	7
帝王切開術の麻酔	100
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	54
胸部外科手術の麻酔	63
脳神経外科手術の麻酔	135



地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター

(以下、神奈川県立こども医療センター)

〒232-0066 神奈川県横浜市南区六ツ川2-1 38-4 TEL : 045-711-2351

(URL: <http://kcmc.kanagawa-pho.jp/>)

研修実施責任者： 中村 信人

専門研修指導医：中村 信人 (小児麻酔・小児心臓麻酔)

宮本 義久 (小児麻酔・小児心臓麻酔)

蜂屋 好子 (小児麻酔・小児心臓麻酔)

山口 恭子 (小児麻酔・小児心臓麻酔)

青木 真理子 (小児麻酔・小児心臓麻酔)

堀木 としみ (小児麻酔・小児心臓麻酔)

専門医：櫻井 龍 (小児麻酔・小児心臓麻酔)

鴻池 利枝 (小児麻酔・小児心臓麻酔)

特徴： 当院の手術室では小児の外科分野全科の手術を行っています。新生児症例や小児心臓血管外科の症例も豊富で小児麻酔を広く経験できます。他科やNICU、ICUとの連携・関係は良好で働きやすいと思います。興味がある方は見学いつでも可能です。こどもはかわいいですよ。



*88 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3403症例

特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	2309
帝王切開術の麻酔	178
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	159
胸部外科手術の麻酔	44
脳神経外科手術の麻酔	93

横須賀市立市民病院

〒240-0195 神奈川県横須賀市長坂1丁目3-2 TEL : 046-856-3136

(URL: <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/yokosuka-shimin/html/>)

研修実施責任者：野瀬 浩文

専門研修指導医：野瀬 浩文 (麻酔)

北村 俊治 (麻酔)

特徴： 三浦半島西海岸地区の地域医療の中心病院

*453 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 1422症例



特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	2
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	5

独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院（以下、横浜労災病院）

〒222-0036 神奈川県横浜市 港北区小机町321 1045-474-8111

(URL : <http://www.yokohamah.rofuku.go.jp/>)

専門研修指導医：越後 憲之（麻醉）

野崎 藤章（麻醉）

水谷 健司（麻醉）

曾我 広太（麻醉）

高杉 直哉（麻醉）

北林 亮子（麻醉）

西澤 英雄（集中治療）

藤本 潤一（集中治療）

七尾 大観（集中治療）

専門医：近藤 有理子（麻醉）

吉川 菜々子（麻醉）

朝垣 萌（麻醉）

木村 康宏（集中治療）

大和田 玄（集中治療・麻醉）

特徴：当院は年間約 5000 件の麻醉科管理症例に対して 14 名の専門医が在籍しています。手術は大手術から小手術まで多岐にわたっています。また、救命救急センターや集中治療室を併設し、急性期に特化した病院となっています。初期研修医は全国から集まり、多くの診療科をローテートするため、どの診療科も活気に満ち溢れ、好循環をもたらしています。

*604 研修委員会認定病院取得

*施設麻醉科管理症例 5071 症例

特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻醉	156
帝王切開術の麻醉	188
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	49
胸部外科手術の麻醉	193
脳神経外科手術の麻醉	165



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター（以下、脳卒中・神経脊椎センター）

〒235-0012 神奈川県横浜市 磯子区滝頭1丁目2-1 tel:045-753-2500

(URL : <http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/>)

研修実施責任者：坂井 誠

専門研修指導医：坂井誠（臨床麻醉）

小林浩子（臨床麻醉）

特徴：脳卒中急性期から回復リハビリ期までの専門病院。

*1705 研修委員会認定病院取得

*施設麻醉科管理症例741 症例



特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻醉	0
帝王切開術の麻醉	0
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻醉	0
脳神経外科手術の麻醉	97

横浜市立市民病院

〒221-0855 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号 TEL:045-316-4580

(URL : <http://yokohama-shiminhosp.jp/>)

研修実施責任者：伊奈川 岳

専門研修指導医：伊奈川 岳 (臨床麻酔)

速水 元 (集中治療)

菅原 陽 (集中治療)

佐藤 大樹 (臨床麻酔)

坪井 さやか (臨床麻酔)

末竹 荘八郎 (臨床麻酔)

* 596 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 4552症例

専門医：若山 洋美 (臨床麻酔)

吉田 恵 (臨床麻酔)

森繁 秀太 (臨床麻酔)

堤 裕美子 (臨床麻酔)

廣富恵里奈 (臨床麻酔)

特徴：横浜市の中心部に位置する地域中核病院。救命センターをはじめとし多くの診療科を持ち幅広い疾患に対する研修ができる。炎症性腸疾患科を有しクローン病・潰瘍性大腸炎患者の手術も多い。

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	26
帝王切開術の麻酔	243
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	61
胸部外科手術の麻酔	180
脳神経外科手術の麻酔	117



恩賜財団 済生会 横浜市南部病院 (以下、横浜市南部病院)

〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台3丁目2-10 TEL : 045-832-1111

(URL : <http://www.nanbu.saiseikai.or.jp/>)

研修実施責任者：横山 香織(麻酔)

専門研修指導医：横山香織 (麻酔)

工藤真里 (麻酔)

平井明子 (麻酔)

永井絵里 (麻酔)

専門医：土屋 裕子 (麻酔)

村田 志乃 (麻酔)

大熊 歌奈子(麻酔)

福地 萌香 (麻酔)

特徴：市中病院として外科系診療科が11科あり、多種多様な術式の麻酔経験が出来る。

*361 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3665症例



特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	43
帝王切開術の麻酔	85
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	42
胸部外科手術の麻酔	101
脳神経外科手術の麻酔	47

社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院(以下、聖隷横浜病院)

〒240-0023 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町215 TEL：045-715-3111

(URL：<http://www.seirei.or.jp/yokohama/>)

研修実施責任者：木下 真弓

専門研修指導医：木下真弓 (ハ°インクリニック,緩和,麻酔)

千葉 桃子 (ハ°インクリニック,麻酔)

岡田 律子 (ハ°インクリニック,麻酔)

佐藤 理恵 (麻酔,緩和)

佐藤 恵子 (麻酔,ハ°インクリニック)

柏木 里恵子 (麻酔)

山内 千世里 (麻酔)

日暮 亜矢 (麻酔)

特徴：横浜市西部の、急性期から緩和まで幅広く行う病院。一般麻酔も行っていますが、ペインクリニック、緩和ケアを麻酔科で外来及び入院患者を持って神経ブロックや疼痛管理を行うことができる。



*1325 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 1168症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	6
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0
胸部外科手術の麻酔	80
脳神経外科手術の麻酔	57

国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院 (以下、平塚共済病院)

〒254-8502 神奈川県平塚市 追分9-11 TEL：0463-32-1950

(URL：<http://www.kkr.hiratsuka.kanagawa.jp/>)

研修実施責任者：渡辺 美佳

専門研修指導医：渡邊 美佳(臨床麻酔)

松尾 慶子 (臨床麻酔)

三上 敦子 (臨床麻酔)

吉岡 征夫 (臨床麻酔)

特徴：平塚市の中核病院で、心臓血管外科・胸部外科・脳神経外科がバランス良く経験できます

*652 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 2469症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	27
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	83
胸部外科手術の麻酔	69
脳神経外科手術の麻酔	65



地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター

(以下、神奈川県立がんセンター)

〒241-0815 神奈川県横浜市旭区中尾2-3-2 TEL:045-520-2222

(URL: <http://kcch.kanagawa-pho.jp/>)

研修実施責任者: 藤田 久栄

専門研修指導医: 藤田 久栄(臨床麻酔)

佐々木 俊郎(臨床麻酔)

高野 修身(麻酔・集中治療)

太田 周平(臨床麻酔)

高月 明子(緩和医療)

専門医: 越後 結香

特徴: 神奈川県のがん診療の拠点病院であり、胸部手症例が豊富。指導者層が厚く丁寧な指導が行えます。緩和ケアの研修も可能です。

*242 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3335症例



特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0
胸部外科手術の麻酔	562
脳神経外科手術の麻酔	31

国際医療福祉大学 熱海病院(以下、熱海病院)

〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町1-3-1 TEL:0557-81-9171

(URL: <http://atami.uhw.ac.jp/>)

研修実施責任者: 伊藤 英基

専門研修指導医: 伊藤 英基(臨床麻酔)

石和 大(臨床麻酔)

辻 和馬(臨床麻酔)

専門医: 川口 淑子(臨床麻酔)



*1177 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 1121症例

特徴: 静岡県熱海市の中核病院。地域医療に対する理解を深めることができる。症例は腎移植が比較的多く、全国でも珍しい内臓の肉腫手術がある。

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	1
帝王切開術の麻酔	21
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0
胸部外科手術の麻酔	99
脳神経外科手術の麻酔	31

財団法人同友会 藤沢湘南台病院 (以下、藤沢湘南台病院)

〒252-0802 神奈川県藤沢市高倉2345 TEL: 0466-44-1451

(URL: <http://www.fj-shonandai.jp/>)

研修実施責任者: 原田 高志

専門研修指導医: 原田高志 (臨床麻酔)
 浅田美恵子 (臨床麻酔)
 櫻井亜沙子 (臨床麻酔)
 坂本彩加 (臨床麻酔)
 山田淳子 (臨床麻酔)
 宮下仁子 (臨床麻酔)
 加治真由 (臨床麻酔)



専門医: 淵田瑛 (臨床麻酔)

特徴: 藤沢市の私立中堅病院。
 先進的な経営スタイルに特徴がある。
 病床数あたりの麻酔科管理手術件数
 としては、関連病院の中でも多い。
 充実した指導が受けられます。

*1093 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 2753症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0
胸部外科手術の麻酔	44
脳神経外科手術の麻酔	0

医療法人社団 公仁会 大和成和病院 (以下、大和成和病院)

〒242-0006 神奈川県大和市南林間9-8-2 TEL: 046-278-3911

(URL: <http://www.fureai-g.or.jp/seiwa/index.html>)

研修実施責任者: 米谷 聡

専門研修指導医: 米谷 聡 (心臓麻酔/集中治療)

特徴: 成人心臓血管外科手術の
 麻酔と、ICU 術後管理を経験、
 学ぶことができます。

*1197 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 558症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	407
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	0



順天堂大学医学部附属順天堂医院(以下、順天堂医院)

〒113-0033 東京都文京区本郷3-1-3 TEL : 03-3813-3111

(URL : <http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>)

研修実施責任者：稲田 英一

専門研修指導医：林田真和（心臓血管外科麻酔）

専門医：片岡久実

西村欣也（小児麻酔）

濱岡早枝子（ペインクリニック）

井関雅子（ペインクリニック、緩和ケア）

鈴木博子（ペインクリニック）

佐藤大三（麻酔全般、集中治療）

河合愛子（ペインクリニック）

角倉弘行（産科麻酔）

岡原祥子（産科麻酔）

水野 樹

福田征孝

石川晴士（胸部外科麻酔）

河内山幸

三高千恵子（集中治療）

高野真美

川越いづみ（呼吸器外科麻酔）

竹内和世

原 厚子（脳神経外科麻酔）

工藤 治

千葉聡子（ペインクリニック）

山本牧子（心臓血管外科麻酔）

掛水真帆（心臓血管外科麻酔）

井上理恵（産科麻酔）

安藤 望

竹郷笑子

黒澤暁子

門倉ゆみ子



特徴：手術麻酔全般のほか、ペインクリニック、緩和ケア、集中治療のローテーションも可能である。

※本プログラムでは、産科麻酔の研修を行う病院。

この分野の先駆けとして全国的に有名な、角倉弘行教授の指導が受けられる。

*12 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 10940症例

特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	939
帝王切開術の麻酔	334
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	870
胸部外科手術の麻酔	807
脳神経外科手術の麻酔	530

昭和大学病院

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

(URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUH/>)

研修実施責任者：大江 克憲

専門研修指導医：大江 克憲（心臓麻酔・集中治療）

大嶽 浩司（麻酔全般・集中治療・医療経済）

加藤 里絵（産科麻酔・手術麻酔）

小谷 透（集中治療）

岡本 健一郎（緩和医療・ペインクリニック）

米良 仁志（ペインクリニック）

三浦 倫一（臨床麻酔）

増井 健一（静脈麻酔・ファーマコメト릭ス）

尾頭 希代子（手術麻酔・心臓麻酔）

細川 幸希（産科麻酔）

上嶋 浩順（区域麻酔・手術麻酔）

宮下 亮一（集中治療）

小林 玲音（ペインクリニック・手術麻酔）

森 麻衣子（集中治療）

西木戸 修（緩和医療・ペインクリニック）

庄野 敦子（集中治療）

市川 ゆき（集中治療）

大杉 浩一（集中治療）

田中 典子（区域麻酔）

樋口 慧（手術麻酔）

牧戸 香詠子（ペインクリニック・手術麻酔）

専門医：金田 有理（手術麻酔）

原 詠子（手術麻酔）

染井 将行（集中治療）

岡田 まゆみ（ A°I ・麻酔）

細川 麻衣子（手術麻酔）

特徴：手術症例が豊富で専門医取得に必要な特殊症例が当施設内で経験できます。手術麻酔に加えて集中治療、ペインクリニック、無痛分娩、緩和医療のアクティビティも高く、サブスペシャリティの研修も可能です。食道手術や肝臓手術の技量が高く、いわゆる大外科手術の麻酔経験を豊富に積めます。心臓血管外科は、成人と小児の両方を数多く行っており、最新のステンドやデバイスの手術も経験できます。超音波ガイド下抹消神経ブロックによる術後鎮痛も積極的に行い、多職種参加の周術期外来も開設しており、麻酔科医に必要な周術期管理をバランス良く習得できます。

*33 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 6281症例

特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	210
帝王切開術の麻酔	292
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	197
胸部外科手術の麻酔	245
脳神経外科手術の麻酔	228



昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

(URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>)

研修実施責任者：信太 賢治

専門研修指導医：信太 賢治 (麻酔全般・ペインクリニック)

山田 新 (麻酔全般)

坂本 篤紀 (麻酔全般・心臓麻酔・小児麻酔)

山村 彩 (麻酔全般)

釋尾 知春 (麻酔全般・経食道心エコー)

高橋 健一 (麻酔全般・心臓麻酔・小児麻酔)

栗倉 英恵 (麻酔全般・小児麻酔)

大橋 祐介 (麻酔全般・緩和医療)

八子 一 (麻酔全般)

特徴：横浜市の北部医療圏に立地する地域中核病院。

外科系・内科系の壁を取り払ったセンター制を採用。

小児外科、胸部外科、心臓血管外科、脳神経外科、産科（帝王切開）などバランスのとれた豊富な症例数が特徴で、各種手術の麻酔管理および集中治療を幅広く経験。

内科、精神科（電気痙攣療法）、歯科口腔外科の麻酔も経験可能。

希望者は、ペインクリニック、緩和医療研修も可能。

女性指導医・専攻医も多く、出産や子育てとキャリアを両立可能。

医局のスローガンは「One Team」。

*1182 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 6125症例

特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	266
帝王切開術の麻酔	359
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	187
胸部外科手術の麻酔	305
脳神経外科手術の麻酔	70



医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院(以下、湘南鎌倉総合病院)

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1 370-1 TEL：0467-46-1717

(URL：https://www.shonankamakura.or.jp/)

研修実施責任者：佐藤 浩三

専門研修指導医：佐藤 浩三

佐藤 ゆみ子

相野田 桂子

園田 清次郎

石川 亜希子

太田 隆嗣

今西 晶子

- 特徴特徴：**
1. 豊富な手術件数とバランスのとれた手術内容
 2. 低侵襲カテーテル手術への積極的関与(TAVI, Mitral Clip, 左心耳閉鎖)
 3. 緊急手術が豊富で術中管理から術後 ICU 管理まで連続して経験できる



*1 436 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 6224症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	78
帝王切開術の麻酔	169
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	358
胸部外科手術の麻酔	173
脳神経外科手術の麻酔	448

埼玉県立小児医療センター

〒339-8551 埼玉県さいたま市岩槻区大字馬込 2100 番地 TEL : 048-758-1811

(URL : <https://www.pref.saitama.lg.jp/scm-c/>)

研修実施責任者：蔵谷 紀文

専門研修指導医：蔵谷 紀文（小児麻酔）

濱屋 和泉（小児麻酔）

佐々木 麻美子（小児麻酔）

大橋 智（小児麻酔）

石川 玲利（小児麻酔）

石田 佐知（小児麻酔）

駒崎真矢（小児麻酔）

指導医：成田 湖筍（小児麻酔）

古賀 洋安（小児麻酔）

櫻井 ともえ（小児麻酔）

高田 美沙（小児麻酔）

小林 泰磨（小児麻酔）

特徴：平成 28 年末にさいたま新都心に
新設移転しました。

交通至便。令和元年より生体肝移植を開始。

* 399 研修委員会認定病院取得

* 施設麻酔科管理症例 3265症例

特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	1721
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	196
胸部外科手術の麻酔	9
脳神経外科手術の麻酔	102



③ 専門研修連携施設 B

藤沢市民病院

〒251-8550 神奈川県藤沢市藤沢 2-6-1 TEL：0466-25-3111(代表)

(URL：<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/hospital/>)

研修実施責任者：近藤 達也

専門研修指導医：近藤 竜也 (臨床麻酔)

佐伯 美奈子(ペイン、緩和ケア)

中易 夏子 (臨床麻酔)

山口 佳子 (臨床麻酔)

専門医：野村 友紀子(臨床麻酔)

横瀬 千枝(臨床麻酔)

仲村 清貴(臨床麻酔)

特徴： 地域の中核病院として、外傷性疾患も多く集まり、特に整形外科領域では、超音波ガイド下末梢神経ブロックを多く取り入れ、早期離床、入院期間の短縮化に努めています。ペインクリニックも常設し、大学と連携しペインクリニックを指導できる人材の教育を目指しています。



*219 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 4484症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	86
帝王切開術の麻酔	177
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	83
胸部外科手術の麻酔	83
脳神経外科手術の麻酔	108

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院(以下、横須賀共済病院)

〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通1丁目16 TEL:046-822-2710

(URL：<http://www.ykh.gr.jp/>)

研修実施責任者：住友 正和

専門研修指導医：住友正和 (臨床麻酔)

小橋帝生 (臨床麻酔)

川崎理栄子(臨床麻酔)

内藤梨菜 (臨床麻酔)

濱田貴子 (臨床麻酔)

専門医：佐野友里香

木田達也

特徴： 豊富な手術麻酔症例あり。

*616 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 5704症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	43
帝王切開術の麻酔	133
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	106
胸部外科手術の麻酔	144
脳神経外科手術の麻酔	406



国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 (以下、横浜南共済病院)

〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1 TEL: 045-782-2101

(URL : <http://www.minamikyousai.jp/>)

研修実施責任者：渡辺 至

専門研修指導医：渡邊 至(臨床麻酔/区域麻酔)

關野 長昭(集中治療部)

大田 まりあ(臨床麻酔)

柳 大介(臨床麻酔)

高寺 恭子(臨床麻酔)

専門医：明石 裕里(臨床麻酔)

岡本 理沙子(臨床麻酔)

春原 啓人(臨床麻酔)

特徴：区域麻酔に特に力を入れ、年間 1000 例に及ぶ神経ブロックをこなす。



* 377 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 5138症例

特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	81
帝王切開術の麻酔	182
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	65
胸部外科手術の麻酔	112
脳神経外科手術の麻酔	44

茅ヶ崎市立病院

〒253-0042 神奈川県茅ヶ崎市本村5丁目15-1 TEL : 0467-52-1111

(URL : <http://hosp.city.chigasaki.kanagawa.jp/>)

専門研修指導医：福山 宏 (臨床麻酔・集中治療・救急医療)

岡部 雪子(臨床麻酔)

専門医：澄田奏子(臨床麻酔)

特徴：茅ヶ崎市の中核病院で、地域医療に対する理解を深めることができる。

緊急手術が麻酔科管理症例の15%を占める。

集中治療・救急への関与も可能。

*406 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 2391症例

特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	34
帝王切開術の麻酔	139
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻酔	98
脳神経外科手術の麻酔	26



地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立足柄上病院

(以下、足柄上病院)

〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領866-1 TEL:0465-83-0351

(URL : <http://ashigarakami.kanagawa-pho.jp/>)

研修実施責任者：大塚 立夫

専門研修指導医：大塚 立夫 (麻酔)

特徴：神奈川県西部の地域医療を担う病院。地域医療に対する理解を深めることができる。

*369 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 1247症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	2
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0
胸部外科手術の麻酔	10
脳神経外科手術の麻酔	24



千葉県こども病院

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町579-1 TEL : 043-292-2111

(URL : <http://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo/>)

研修実施責任者：内田 整

専門研修指導医：内田 整 (麻酔・集中治療・モニタリング・心臓麻酔)

原 真理子(麻酔/集中治療, 小児麻酔)

特徴：千葉県の小児医療の中心施設。

小児のTIVA(全静脈麻酔)を盛んに行っている。

臨床研究にも力を入れている。

*521 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 1896症例



特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	1026
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	170
胸部外科手術の麻酔	4
脳神経外科手術の麻酔	90

地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院

(以下、静岡県立こども病院)

〒420-8660 静岡県静岡市葵区漆山 860 TEL : 054-247-6251

(URL : <http://www.shizuoka-pho.jp/kodomo/>)

研修実施責任者：奥山 克巳

専門研修指導医：奥山 克巳(麻酔・小児麻酔)

渡邊朝香(麻酔・小児麻酔)

特徴：静岡県の小児医療の中心施設。

* 183 研修委員会認定病院取得

* 施設麻酔科管理症例 2985症例



特殊症例	施設年間症例数
小児（6歳未満）の麻酔	1366
帝王切開術の麻酔	115
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	298
胸部外科手術の麻酔	9
脳神経外科手術の麻酔	47

社会医療法人財団石心会 川崎幸病院(以下、川崎幸病院)

〒212-0014 神奈川県川崎市 幸区大宮町 31-27 TEL:044-544-4611

(URL : <http://saiwaihp.jp/>)

研修実施責任者：高山 渉
専門研修指導医：高山 渉(麻酔・心臓麻酔) 迫田 厚志(麻酔・心臓麻酔) 甘利 奈央(麻酔・心臓麻酔) 原田 昇幸(麻酔・心臓麻酔) 専門医：戸谷 遼(麻酔・心臓麻酔)

特徴：全国でも TOP の件数の胸部・胸腹部大動脈手術実施実績があり、麻酔科専門医育成の上では、多くの心臓血管外科手術の麻酔を経験できることが最大の特徴です。特に胸腹部大動脈瘤手術を当院ほど数多く経験できる施設は多くは存在しないと考えます。更に昨年度からは従来の胸腹部大動脈手術に加え、僧帽弁・大動脈弁の置換のみならず形成術、オフポンプ CABG や TAVR などの心臓手術も実施され、心臓血管外科領域の症例数は 1200 を超えました。これは心臓外科領域全体でも全国 TOP に近い件数です。また緊急手術も多いため、管理にも多様なバリエーションがあり、専門医教育施設として今後も発展できると考えています。

*1480 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 4843症例



東京女子医科大学病院

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 TEL : 03-3353-8111

(URL : <http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/index.html>)

研修実施責任者 : 長坂 安子

専門医 : 長谷川 晴子 (麻酔)

専門研修指導医 : 長坂 安子 (麻酔)

津久井 亮太 (麻酔)

野村 実 (麻酔)

佐藤 碧星 (麻酔)

尾崎 恭子 (麻酔)

西周 祐美 (集中治療)

黒川 智 (麻酔)

深田 智子 (麻酔)

岩出 宗代 (麻酔、Painクリニック)

近藤 泉 (麻酔)

横川 すみれ (麻酔)

濱田 啓子 (麻酔)

庄司 詩保子 (麻酔)

岩田 志保子 (麻酔)

佐久間 潮里 (麻酔)

土井 健司 (麻酔)

中澤 圭介 (麻酔)

伊藤 祥子 (麻酔)

古井 郁恵 (麻酔)

楠田 理絵 (麻酔)

永井 美玲 (麻酔)

石川 高 (麻酔)

神谷 岳史 (麻酔)

有吉 史美子 (麻酔)

浅野 麻由 (麻酔)

原村 陽子 (麻酔)

森脇 翔太 (麻酔)

山本 偉 (麻酔)

野村 岳志 (集中治療)

中川 淳哉 (集中治療)

石川 淳哉 (集中治療)

清野 雄介 (集中治療)

佐藤 暢夫 (麻酔、集中治療)

岩渕 雅洋 (集中治療)

出井 真史 (集中治療)

特徴 : 東京女子医科大学集中治療科は 2017 年 4 月に病棟再編にあわせて新設され、集中治療室 (ICU) 18 床と高度治療室 (HCU) 15 床での治療をサポートしております。当院で行われる侵襲の大きな手術をうける患者さん、多様な臓器移植術後の患者さん、成人先天性心疾患など複雑な既往・合併症を有する患者さんなどの手術後管理、また治療中に発症した重症肺炎や敗血症など重症臓器障害の患者さんの集学的治療を麻酔科はじめ多くの診療科と協力して行っております。日々変化する患者さんの病態を毎朝行う多職種カンファレンスで検討し、治療計画を決定しております。集中治療室での技術的な研修のほか超音波診断、感染症治療など始めとして多彩な研修が行えます。また他大学・病院とのネットカンファレンスなども行っており有用な研修が行える環境を作っています。



*32 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 7785症例

特殊症例	施設年間症例数
小児 (6歳未満) の麻酔	284
帝王切開術の麻酔	266
心臓血管手術の麻酔	856
胸部外科手術の麻酔	298
脳神経外科手術の麻酔	636

東日本電信電話株式会社 NTT 東日本関東病院(以下、NTT 東日本関東病院)

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-9-22 TEL：03-3448-6111

(URL：[https:// www.ntt-east.co.jp/kmc/](https://www.ntt-east.co.jp/kmc/))

研修実施責任者：安部 洋一郎(ペインクリニック科)

専門研修指導医：安部 洋一郎(ペイン)

特徴：本プログラムでは、ペインクリニックの研修を行う。

神経ブロックによるペインクリニック診療で、日本一の症例数を誇る病院。

*35 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3983 症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	124
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	98
胸部外科手術の麻酔	239
脳神経外科手術の麻酔	248



大和市立病院

〒242-0018 神奈川県大和市深見西8丁目3-6 TEL：046-260-0111

(URL：<http://www.yamatocity-mh.jp/>)

研修実施責任者：工藤 一大

専門研修指導医：工藤一大(臨床麻酔)

井上素樹(臨床麻酔)

専門医：渡邊潤子(臨床麻酔)

特徴：大和市の中核病院で、地域医療に対する理解を深めることができる。

産婦人科症例の多い病院。末梢側の血管、血管内手術が増加している。

*500 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 2812症例

特殊症例	施設年間症例数
小児(6歳未満)の麻酔	36
帝王切開術の麻酔	126
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0
胸部外科手術の麻酔	36
脳神経外科手術の麻酔	50



5. 募集定員

24名

6. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は、日本専門医機構に定められた方法により、期限までに志望の研修プログラムに応募する。

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは、横浜市立大学麻酔科専門研修プログラムwebsite、電話、e-mail、郵送のいずれの方法でも可能である。

横浜市立大学附属病院 麻酔科 教授

後藤隆久(ごとう たかひさ)

(2026年4月より研修プログラム統括責任者が長嶺祐介へ変更)

(秘書 西本 知美)

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

TEL : 045-787-2918(麻酔科直通)

FAX : 045-787-2916

HP : <http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~masuika/>

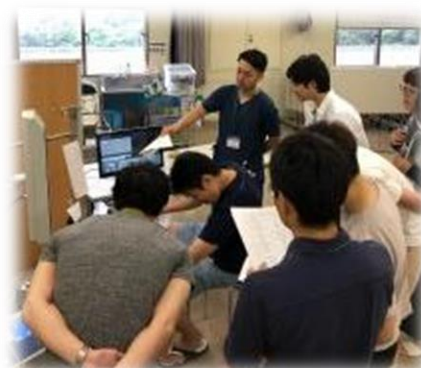
代表Mail : anesthes@yokohama-cu.ac.jp



見学も随時受け入れております。

説明会・セミナーなどもの参加も大歓迎です！お気軽にご連絡ください。

HP からのお問い合わせも可能です！



6. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

① 専門研修で得られる成果(アウトカム)

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は、4年間の専門研修を修了することで、安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し、国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる。具体的には、専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技能
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学に則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後には、大学院への進学やサブスペシャリティ領域の専門研修を開始する準備も整っており、専門医取得後もシームレスに次の段階に進み、個々のスキルアップを図ることが出来る。

② 麻酔科専門研修の到達目標

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために、研修期間中に別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに定められた専門知識、専門技能、学問的姿勢、医師としての倫理性と社会性に関する到達目標を達成する。

③ 麻酔科専門研修の経験目標

研修期間中に専門医としての十分な知識、技能、態度を備えるために、別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに定められた経験すべき疾患・病態、経験すべき診療・検査、経験すべき麻酔症例、学術活動の経験目標を達成する。

このうちの経験症例に関して、原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが、地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り、研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒業臨床研修期間に経験した症例のうち、専門研修指導医が指導した症例に限っては、専門研修の経験症例数として数えることができる。

7. 専門研修方法

別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに定められた 1) 臨床現場での学習、2) 臨床現場を離れた学習、3) 自己学習により、専門医としてふさわしい水準の知識、技能、態度を修得する。



8. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って、下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する。

★専門研修 1 年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し、ASA 1～2度の患者の通常の定時手術に対して、指導医の指導のもと、安全に周術期管理を行うことができる。

★★専門研修 2 年目

1年目で修得した技能、知識をさらに発展させ、全身状態の悪いASA 3度の患者の周術期管理やASA 1～2度の緊急手術の周術期管理を、指導医の指導のもと、安全に行うことができる。

これに加え、胸部外科手術、脳神経外科手術、帝王切開手術、心臓外科手術などを経験し、さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと、安全に行うことができる。

★★★専門研修 3 年目

小児手術を経験し、指導医のもと、安全に行うことができる。また、集中治療、救急医療など関連領域の臨床に携わり、知識・技能を修得する。

★★★★専門研修 4 年目

これまでの経験をさらに発展させ、さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる。基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが、難易度の高い症例、緊急時などは適切に上級医をコールして、患者の安全を守ることができる。

9. 専門研修の評価(自己評価と他者評価)

① 形成的評価

- 研修実績記録：専攻医は毎研修年次末に、専攻医研修実績記録フォーマットを用いて自らの研修実績を記録する。研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される。
- 専門研修指導医による評価とフィードバック：研修実績記録に基づき、専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し、研修実績および到達度評価表、指導記録フォーマットによるフィードバックを行う。研修プログラム管理委員会は、各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し、専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる。

② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において、専門研修4年次の最終月に、専攻医研修実績フォーマット、研修実績および到達度評価表、指導記録フォーマットをもとに、研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて、各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識、②専門技能、③医師として備えるべき学問的姿勢、倫理性、社会性、適性等を修得したかを総合的に評価し、専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する。

10. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標、経験すべき症例数を達成し、知識、技能、態度が専門医にふさわしい水準にあるかどうか修了要件である。各施設の研修実施責任者が集まる研修プログラム管理委員会において、研修期間中に行われた形成的評価、総括的評価を元に修了判定が行われる。

11. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は、毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い、研修プログラム管理委員会に提出する。評価を行ったことで、専攻医が不利益を被らないように、研修プログラム統括責任者は、専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある。

研修プログラム統括管理者は、この評価に基づいて、すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために、自立的に研修プログラムの改善を行う義務を有する。

12. 専門研修の休止・中断、研修プログラムの移動

① 専門研修の休止

- 専攻医本人の申し出に基づき、研修プログラム管理委員会が判断を行う。
- 出産あるいは疾病などに伴う6ヶ月以内の休止は1回までは研修期間に含まれる。
- 妊娠・出産・育児・介護・長期療養・留学・大学院進学など正当な理由がある場合は、連続して2年迄休止を認めることとする。休止期間は研修期間に含まれない。研修プログラムの休止回数に制限はなく、休止期間が連続して2年を越えていなければ、それまでの研修期間はすべて認められ、通算して4年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす。
- 2年を越えて研修プログラムを休止した場合は、それまでの研修期間は認められない。ただし、地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については、卒後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし2年以上の休止を認める。

② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は、研修プログラム管理委員会を通じて日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする。
- 専門研修の中断については、専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判断した場合、研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる。

③ 研修プログラムの移動

- 専攻医は、やむを得ない場合、研修期間中に研修プログラムを移動することができる。その際は移動元、移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて、日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある。麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める。

13. 地域医療への対応

本研修プログラムの連携施設には、神奈川県地域医療の中核病院としての横須賀共済病院、藤沢市民病院、藤沢湘南台病院、平塚共済病院、神奈川県立足柄上病院など幅広い連携施設が入っている。また、麻酔科医数が全国平均より相当程度少ない千葉県、埼玉県、静岡県にも連携施設をもつ。これらの病院の多くは充分数の指導医がいるが、指導医の少ない施設に対しては、大学から麻酔科学会専門医レベル以上の医師を定期的に派遣する。医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し、適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため、専攻医は、大病院だけでなく、地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い、当該地域における麻酔診療のニーズを理解する。

14. 専攻医の就業環境の整備機能（労務管理）

研修期間中に常勤として在籍する研修施設の就業規則に基づき就業することとなります。専攻医の就業環境に関して、各研修施設は労働基準法や医療法を順守することを原則とします。プログラム統括責任者および各施設の研修責任者は専攻医の適切な労働環境（設備、労働時間、当直回数、勤務条件、給与なども含む）の整備に努めるとともに、心身の健康維持に配慮します。

年次評価を行う際、専攻医および専門研修指導医は研修施設に対する評価（Evaluation）も行い、その内容を専門研修プログラム管理委員会に報告する。就業環境に改善が必要であると判断した場合には、当該施設の施設長、研修責任者に文書で通達・指導します。

